

ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2019年10月18日)

(作成対象期間 2019年4月19日～2019年10月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>
<2751>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	5年間(2017年10月19日～2022年10月18日)		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)および不動産投資信託証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2018年 4 月18日)	10,639	100	7.4	10,567	5.7	93.0	—	3.9	6,622
2 期末 (2018年10月18日)	10,695	0	0.5	10,968	3.8	89.8	—	4.0	6,526
3 期末 (2019年 4 月18日)	11,396	200	8.4	11,324	3.2	88.6	—	4.1	5,584
4 期末 (2019年10月18日)	11,679	50	2.9	11,705	3.4	93.0	—	3.8	4,680

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

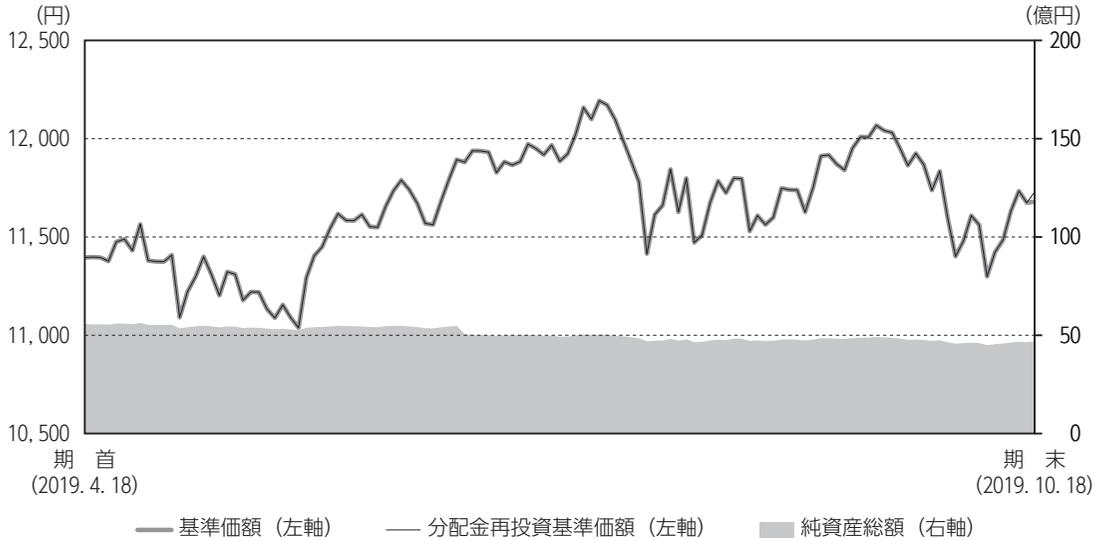
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,396円

期末：11,679円（分配金50円）

騰落率：2.9%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

保有株式の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2019年 4月18日	11,396	—	11,324	—	88.6	—	4.1
4月末	11,431	0.3	11,425	0.9	90.7	—	4.2
5月末	11,155	△ 2.1	10,889	△ 3.8	91.1	—	4.4
6月末	11,681	2.5	11,420	0.8	93.3	—	4.4
7月末	12,099	6.2	11,764	3.9	92.3	—	4.3
8月末	11,748	3.1	11,419	0.8	90.4	—	3.6
9月末	11,738	3.0	11,564	2.1	93.6	—	3.7
(期末)2019年10月18日	11,729	2.9	11,705	3.4	93.0	—	3.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 4. 19 ～ 2019. 10. 18）

米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より2019年5月末にかけて、米国による対中追加関税の税率引き上げと対象範囲の拡大の検討に加え、米国PMI（購買担当者指数）の悪化などの材料が重なり、軟調な推移が続きました。しかし6月に入ると、良好な企業業績やFRB（米国連邦準備制度理事会）が景気への配慮から利下げを実施するとの期待が高まったことなどを背景に、米国中型株式市場は反発しました。その後しばらくは上昇基調が続きましたが、8月初めに米国が新たな対中追加関税を導入する方針を発表したことで、再び下落しました。9月以降も、米中貿易摩擦と米国の景気後退の可能性に一喜一憂する展開が続きました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のために、為替ヘッジを行います。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

2018年末の株安後に割高感が後退した場面で、長期的な成長ストーリーが期待できる銘柄や、安定したビジネスモデルを有する銘柄を購入しました。しかし、2019年に入って米国中型株式市場が急回復し、再びバリュエーションが上昇している点を慎重にみており、引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 4. 19～2019. 10. 18）

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行いました。

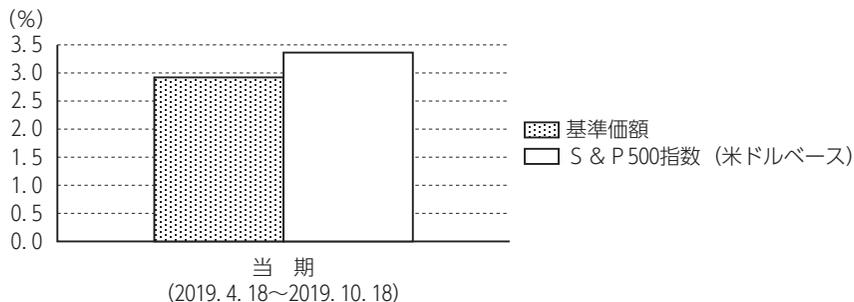
■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。引き続き、技術革新に伴う急速なビジネスモデルの変化への適応力の観点から有望な投資機会があると考えられる銘柄への投資を継続しました。その結果、セクター別では、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが高位の組み入れとなりました。一方、相対的に魅力度が低いとみた銘柄の売却を進めた結果、不動産セクターの比率が低下しました。また、エネルギーや生活必需品セクターの銘柄については、投資機会が限定的とみて投資を手控えました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年4月19日 ～2019年10月18日	
当期分配金（税込み） (円)		50
対基準価額比率 (%)		0.43
当期の収益 (円)		50
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		1,678

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 280.13
(c) 収益調整金	511.09
(d) 分配準備積立金	901.38
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,728.90
(f) 分配金	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,678.90

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

当ファンドでは、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も、市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

米国中型株式市場においては、医療技術やインターネット関連などの分野で高い成長を示している一部の銘柄に割高感が見られる点を慎重にみています。2020年の米国大統領選挙に向け、株式市場のボラティリティが上昇すると予想されることから、政治的な動きの影響を受けにくい銘柄の見極めに注力していきます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 4. 19～2019. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	103円	0.882%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,654円です。
(投 信 会 社)	(54)	(0.460)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.010	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.010)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	106	0.910	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

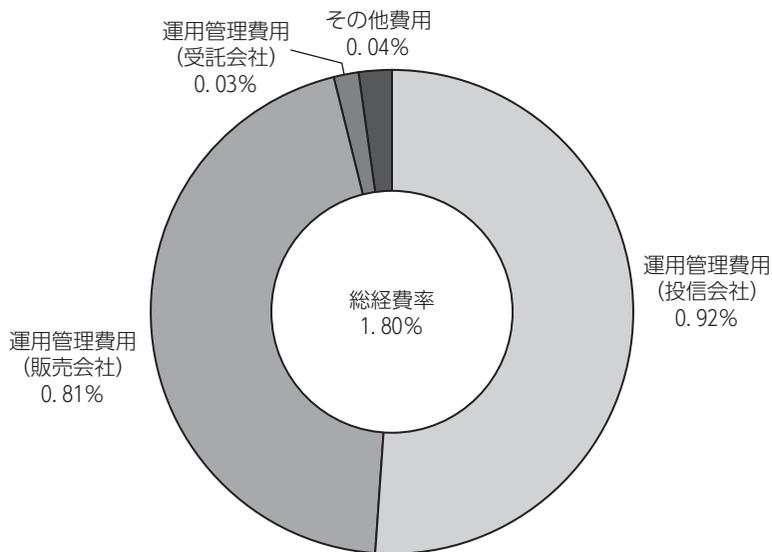
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年4月19日から2019年10月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	—	—	804,425	1,010,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2019年4月19日から2019年10月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,108,380千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	19,007,186千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
	□ 数	□ 数	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	4,470,063	3,665,638	4,615,038

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	4,615,038	95.9
コール・ローン等、その他	198,415	4.1
投資信託財産総額	4,813,453	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.71円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（18,394,080千円）の投資信託財産総額（18,584,804千円）に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,195,049,834円
コール・ローン等	198,415,037
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	4,615,038,597
未収入金	4,381,596,200
(B) 負債	4,514,568,550
未払金	4,448,910,000
未払収益分配金	20,038,193
未払解約金	622,795
未払信託報酬	44,857,740
その他未払費用	139,822
(C) 純資産総額（A－B）	4,680,481,284
元本	4,007,638,749
次期繰越損益金	672,842,535
(D) 受益権総口数	4,007,638,749口
1万口当り基準価額（C/D）	11,679円

* 期首における元本額は4,900,088,716円、当作成期間中における追加設定元本額は198,532,846円、同解約元本額は1,090,982,813円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,679円です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

■損益の状況

当期 自 2019年4月19日 至 2019年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,546円
受取利息	2,069
支払利息	△ 23,615
(B) 有価証券売買損益	171,839,119
売買益	355,596,316
売買損	△ 183,757,197
(C) 信託報酬等	△ 45,008,829
(D) 当期損益金 (A + B + C)	126,808,744
(E) 前期繰越損益金	361,241,601
(F) 追加信託差損益金	204,830,383
(配当等相当額)	(110,590,124)
(売買損益相当額)	(94,240,259)
(G) 合計 (D + E + F)	692,880,728
(H) 収益分配金	△ 20,038,193
次期繰越損益金 (G + H)	672,842,535
追加信託差損益金	204,830,383
(配当等相当額)	(110,590,124)
(売買損益相当額)	(94,240,259)
分配準備積立金	468,012,152

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：12,619,990円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,539,131円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	112,269,613
(c) 収益調整金	204,830,383
(d) 分配準備積立金	361,241,601
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	692,880,728
(f) 分配金	20,038,193
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	672,842,535
(h) 受益権総口数	4,007,638,749口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	50円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2018年 4 月18日)	10,296	0	3.0	10,025	0.3	93.2	—	3.9	45,558
2 期末 (2018年10月18日)	10,800	150	6.4	10,940	9.1	90.0	—	4.0	24,112
3 期末 (2019年 4 月18日)	11,560	250	9.4	11,229	2.6	88.7	—	4.1	17,712
4 期末 (2019年10月18日)	11,689	0	1.1	11,262	0.3	93.0	—	3.8	14,079

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

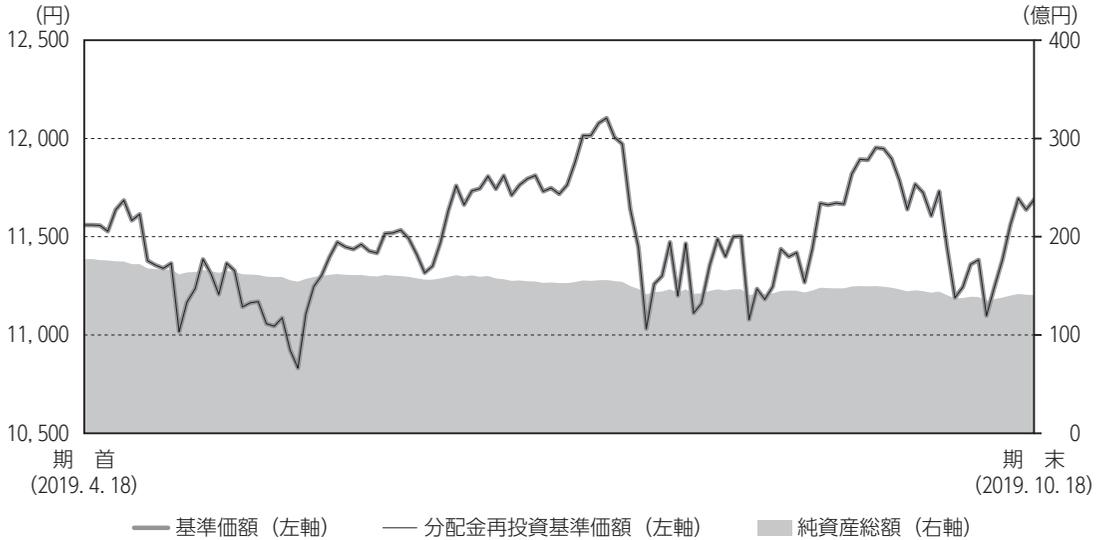
(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,560円

期末：11,689円（分配金0円）

騰落率：1.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米ドルは対円で下落（円高）したものの、保有株式の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2019年 4月18日	11,560	—	11,229	—	88.7	—	4.1
4月末	11,583	0.2	11,309	0.7	90.9	—	4.2
5月末	11,087	△ 4.1	10,539	△ 6.1	91.5	—	4.5
6月末	11,470	△ 0.8	10,894	△ 3.0	93.2	—	4.4
7月末	12,006	3.9	11,312	0.7	92.2	—	4.3
8月末	11,438	△ 1.1	10,759	△ 4.2	91.4	—	3.6
9月末	11,607	0.4	11,045	△ 1.6	93.8	—	3.7
(期末)2019年10月18日	11,689	1.1	11,262	0.3	93.0	—	3.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 4. 19 ～ 2019. 10. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より2019年5月末にかけて、米国による対中追加関税の税率引き上げと対象範囲の拡大の検討に加え、米国PMI（購買担当者指数）の悪化などの材料が重なり、軟調な推移が続きました。しかし6月に入ると、良好な企業業績やFRB（米国連邦準備制度理事会）が景気への配慮から利下げを実施するとの期待が高まったことなどを背景に、米国中型株式市場は反発しました。その後しばらくは上昇基調が続きましたが、8月初めに米国が新たな対中追加関税を導入する方針を発表したことで、再び下落しました。9月以降も、米中貿易摩擦と米国の景気後退の可能性に一喜一憂する展開が続きました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円相場は、米国による対中追加関税の税率引き上げなどを背景に、2019年5月以降円高が進行し、6月下旬まで軟調な推移が続きました。7月にはやや円安方向に戻す局面も見られたものの、8月に入ると再度急激に円高が進行しました。9月以降は、米中貿易摩擦への懸念の後退などを受けてリスク回避的な動きが後退したことから、米ドルは対円で下げ幅を縮め、当作成期末にかけて横ばいでの推移が継続しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

2018年末の株安後に割高感が後退した場面で、長期的な成長ストーリーが期待できる銘柄や、安定したビジネスモデルを有する銘柄を購入しました。しかし、2019年に入って米国中型株式市場が急回復し、再びバリュエーションが上昇している点を慎重にみており、引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 4. 19 ~ 2019. 10. 18)

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

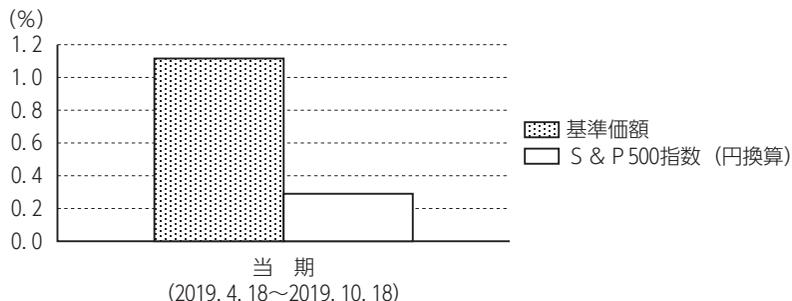
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。引き続き、技術革新に伴う急速なビジネスモデルの変化への適応力の観点から有望な投資機会があると考えられる銘柄への投資を継続しました。その結果、セクター別では、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが高位の組み入れとなりました。一方、相対的に魅力度が低いとみた銘柄の売却を進めた結果、不動産セクターの比率が低下しました。また、エネルギーや生活必需品セクターの銘柄については、投資機会が限定的とみて投資を手控えました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年4月19日 ～2019年10月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,688

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
 （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
 （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

当ファンドでは、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も、市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

米国中型株式市場においては、医療技術やインターネット関連などの分野で高い成長を示している一部の銘柄に割高感が見られる点を慎重にみています。2020年の米国大統領選挙に向け、株式市場のボラティリティが上昇すると予想されることから、政治的な動きの影響を受けにくい銘柄の見極めに注力していきます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 4. 19～2019. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	101円	0.882%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,497円です。
（投 信 会 社）	(53)	(0.460)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(47)	(0.406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.010	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.010)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	105	0.910	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

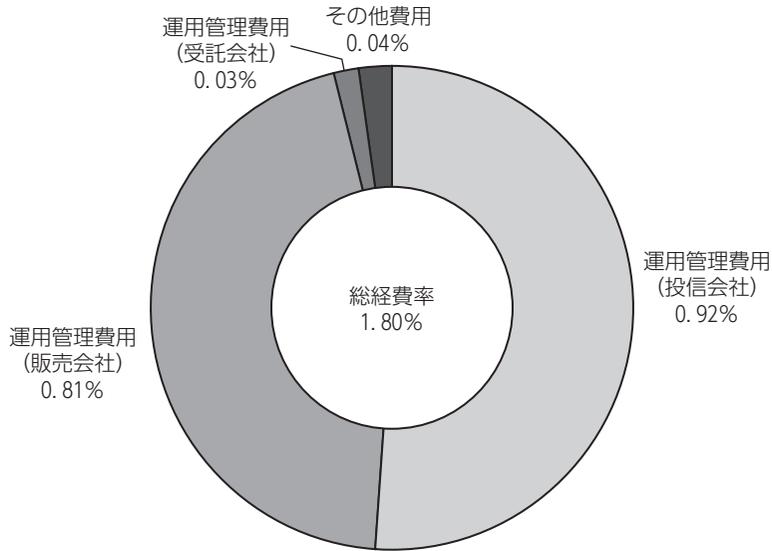
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年4月19日から2019年10月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	—	—	3,177,833	3,923,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年4月19日から2019年10月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,108,380千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	19,007,186千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	14,201,851	11,024,018	13,879,238	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	13,879,238	97.0
コール・ローン等、その他	422,536	3.0
投資信託財産総額	14,301,774	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.71円です。

(注3) ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（18,394,080千円）の投資信託財産総額（18,584,804千円）に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,301,774,978円
コール・ローン等	337,536,140
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	13,879,238,838
未収入金	85,000,000
(B) 負債	221,897,032
未払解約金	85,107,916
未払信託報酬	136,363,867
その他未払費用	425,249
(C) 純資産総額 (A - B)	14,079,877,946
元本	12,045,906,956
次期繰越損益金	2,033,970,990
(D) 受益権総口数	12,045,906,956口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,689円

* 期首における元本額は15,322,372,214円、当作成期間中における追加設定元本額は801,717,717円、同解約元本額は4,078,182,975円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,689円です。

■損益の状況

当期 自 2019年4月19日 至 2019年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 44, 143円
受取利息	5, 634
支払利息	△ 49, 777
(B) 有価証券売買損益	291, 997, 110
売買益	363, 465, 971
売買損	△ 71, 468, 861
(C) 信託報酬等	△ 136, 800, 658
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	155, 152, 309
(E) 前期繰越損益金	1, 530, 760, 529
(F) 追加信託差損益金	348, 058, 152
(配当等相当額)	(155, 122, 779)
(売買損益相当額)	(192, 935, 373)
(G) 合計 (D + E + F)	2, 033, 970, 990
次期繰越損益金 (G)	2, 033, 970, 990
追加信託差損益金	348, 058, 152
(配当等相当額)	(155, 122, 779)
(売買損益相当額)	(192, 935, 373)
分配準備積立金	1, 685, 912, 838

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：38,520,390円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	30, 980, 389円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	124, 171, 920
(c) 収益調整金	348, 058, 152
(d) 分配準備積立金	1, 530, 760, 529
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2, 033, 970, 990
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2, 033, 970, 990
(h) 受益権総口数	12, 045, 906, 956口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

運用報告書 第4期（決算日 2019年10月18日）

（作成対象期間 2019年4月19日～2019年10月18日）

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

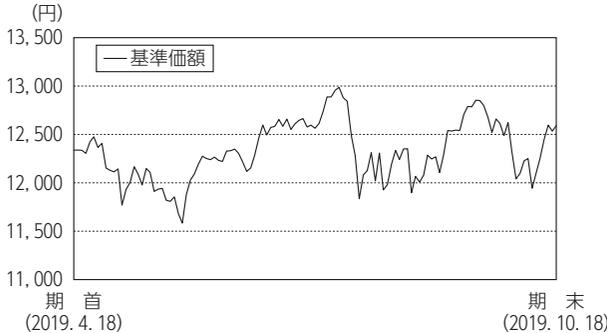
大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株 式	株 式	投資信託
	円	%	(参考指数)	%	組入比率	先物比率	証券組入比率
(期首) 2019年4月18日	12,337	—	11,229	—	89.7	—	4.2
4月末	12,366	△ 0.2	11,309	0.7	91.4	—	4.2
5月末	11,855	△ 3.9	10,539	△ 6.1	91.9	—	4.5
6月末	12,284	△ 0.4	10,894	△ 3.0	93.7	—	4.4
7月末	12,881	△ 4.4	11,312	0.7	92.7	—	4.3
8月末	12,286	△ 0.4	10,759	△ 4.2	91.8	—	3.6
9月末	12,488	1.2	11,045	△ 1.6	94.1	—	3.8
(期末) 2019年10月18日	12,590	2.1	11,262	0.3	94.4	—	3.8

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,337円 期末：12,590円 騰落率：2.1%

【基準価額の主な変動要因】

米ドルは対円で下落 (円高) したものの、保有株式の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より2019年5月末にかけて、米国による対中追加関税の税率引き上げと対象範囲の拡大の検討に加え、米国PMI (購買担当者指数) の悪化などの材料が重なり、軟調な推移が続きました。しかし6月に入ると、良好な企業業績やFRB (米国連邦準備制度理事会) が景気への配慮から利下げを実施するとの期待が高まったことなどを背景に、米国中型株式市場は反発しました。その後しばらくは上昇基調が続きましたが、8月初めに米国が新たな対中追加関税を導入する方針を発表したことで、再び下落しました。9月以降も、米中貿易摩擦と米国の景気後退の可能性に一喜一憂する展開が続きました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円相場は、米国による対中追加関税の税率引き上げなどを背景に、2019年5月以降円高が進行し、6月下旬まで軟調な推移が続きました。7月にはやや円安方向に戻す局面も見られたものの、8月に入ると再度急激に円高が進行しました。9月以降は、米中貿易摩擦への懸念の後退などを受けてリスク回避的な動きが後退したことから、米ドルは対円で下げ幅を縮め、当作成期末にかけて横ばいでの推移が続きました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

2018年末の株安後に割高感が後退した場面で、長期的な成長ストーリーが期待できる銘柄や、安定したビジネスモデルを有する銘柄を購入しました。しかし、2019年に入って米国中型株式市場が急回復し、再びバリュエーションが上昇している点を慎重にみており、引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。引き続き、技術革新に伴う急速なビジネスモデルの変化への適応力の観点から有望な投資機会があると考えられる銘柄への投資を継続しました。その結果、セクター別では、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが高位の組み入れとなりました。一方、相対的に魅力度が低いとみた銘柄の売却を進めた結果、不動産セクターの比率が低下しました。また、エネルギーや生活必需品セクターの銘柄については、投資機会が限定的とみて投資を手控えました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

当ファンドでは、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も、市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

米国中型株式市場においては、医療技術やインターネット関連などの分野で高い成長を示している一部の銘柄に割高感が見られる点を慎重にみています。2020年の米国大統領選挙に向け、株式市場のボラティリティが上昇すると予想されることから、政治的な動きの影響を受けにくい銘柄の見極めに注力していきます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
(投資信託証券)	(0)
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2019年4月19日から2019年10月18日まで)

銘柄	当期			前期		
	株数	金額	平均単価	株数	金額	平均単価
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS (アメリカ)	30,986	165,783	5,350	4,562	292,209	64,052
GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	17,374	138,488	7,971	6,215	205,109	33,002
CARMAX INC (アメリカ)	14,677	137,117	9,342	13,292	189,433	14,251
PRA HEALTH SCIENCES INC (アメリカ)	11,603	120,036	10,345	8,123	142,723	17,570
BELDEN INC (アメリカ)	18,91	108,322	5,728	8,665	137,113	15,823
DENTSPLY SIRONA INC (アメリカ)	15,909	91,660	5,761	12,676	135,588	10,696
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR (アイルランド)	4,058	28,735	7,081	7,777	118,344	15,217
IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	1,576	23,442	14,874	10,55	114,962	10,896
WABTEC CORP (アメリカ)	3,141	22,965	7,311	7,156	100,346	14,022
DOLBY LABORATORIES INC-CL A (アメリカ)	2,116	14,925	7,053	4,954	81,606	16,472

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 株式

(2019年4月19日から2019年10月18日まで)

国	銘柄	買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	1,388.87 (△ 97.47)	千アメリカ・ドル 9,042 (△ 3,260)	4,492.37	千アメリカ・ドル 38,117

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年4月19日から2019年10月18日まで)

国	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	0.272 (-)	千アメリカ・ドル 21 (-)	22.49 (-)	千アメリカ・ドル 2,774 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年4月19日から2019年10月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	0.272	2,403	8,834	CROWN CASTLE INTL CORP (アメリカ)	15.489	236,918	15,295
				LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	7.001	60,624	8,659

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	295.33	255.71	3,206	348,534	情報技術
SYNCHRONY FINANCIAL	353	305.63	1,038	112,898	金融
VERISK ANALYTICS INC	243.47	195.25	3,030	329,464	資本財・サービス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	286.03	216.02	2,819	306,530	情報技術
LULULEMON ATHLETICA INC	11.56	—	—	—	一般消費財・サービス
WR BERKLEY CORP	553.24	478.98	3,392	368,811	金融
DENTSPLY SIRONA INC	—	159.09	874	95,034	ヘルスケア
TE CONNECTIVITY LTD	461.24	399.36	3,714	403,754	情報技術
DUNKIN' BRANDS GROUP INC	429.08	371.5	2,837	308,506	一般消費財・サービス
MSCI INC	68.24	51.49	1,179	128,199	金融
MIDDLEBY CORP	137.11	118.72	1,370	148,974	資本財・サービス
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	271.51	550.49	2,755	299,577	情報技術
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	97.47	—	—	—	その他
ARAMARK	492.38	426.3	1,885	204,975	一般消費財・サービス
CBOE GLOBAL MARKETS INC	123.55	106.97	1,245	135,416	金融
GARTNER INC	108.81	90.33	1,307	142,160	情報技術
GLOBAL PAYMENTS INC	315.01	235.49	3,844	417,896	情報技術
CARTER'S INC	126.76	—	—	—	一般消費財・サービス
SERVICEMASTER GLOBAL HOLDING	592.8	513.24	2,830	307,705	一般消費財・サービス
TELEFLEX INC	56.29	48.75	1,599	173,848	ヘルスケア
CATALENT INC	423.25	366.45	1,822	198,108	ヘルスケア
CARLISLE COS INC	214	185.28	2,639	286,919	資本財・サービス
AMETEK INC	78.3	—	—	—	資本財・サービス
WEX INC	234.41	202.95	4,205	457,161	情報技術
BELDEN INC	—	166.07	881	95,881	情報技術
COSTAR GROUP INC	76.87	31.67	1,857	201,888	資本財・サービス
SVB FINANCIAL GROUP	45.73	39.6	811	88,181	金融
OLD DOMINION FREIGHT LINE	108	93.52	1,649	179,338	資本財・サービス
NATIONAL INSTRUMENTS CORP	702.76	608.42	2,490	270,716	情報技術
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	570.69	494.09	3,826	415,949	金融
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	234.7	203.2	1,967	213,940	ヘルスケア
DOLBY LABORATORIES INC-CL A	479.41	431.28	2,783	302,545	情報技術
REXNORD CORP	592.39	512.9	1,404	152,719	資本財・サービス
AMDOCS LTD	555.19	490.34	3,253	353,731	情報技術
EURONET WORLDWIDE INC	73.98	64.05	948	103,113	情報技術
CIMPRESS NV	250.21	216.65	2,840	308,814	資本財・サービス

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
SAGE THERAPEUTICS INC	34.51	29.87	432	47,028	ヘルスケア	
ICU MEDICAL INC	65.85	57.02	893	97,089	ヘルスケア	
NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDIN	503.75	415.67	2,069	224,943	一般消費財・サービス	
IHS MARKIT LTD	329.66	285.42	1,989	216,296	資本財・サービス	
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	163.78	141.81	2,849	309,772	資本財・サービス	
LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-C	265.39	229.78	953	103,689	コミュニケーション・サービス	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	55.66	54.2	473	51,520	ヘルスケア	
KLA CORP	292.95	216.77	3,501	380,599	情報技術	
LAM RESEARCH CORP	128.78	111.49	2,632	286,155	情報技術	
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	286.22	154.78	1,898	206,355	情報技術	
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	152.67	169.71	1,262	137,206	資本財・サービス	
NICE LTD - SPON ADR	286.59	248.15	3,724	404,942	情報技術	
HEICO CORP-CLASS A	183.47	78.85	733	79,734	資本財・サービス	
RITCHIE BROS AUCTIONEERS	653.66	565.92	2,248	244,423	資本財・サービス	
GILDAN ACTIVEWEAR INC	848.28	734.43	2,598	282,473	一般消費財・サービス	
WAYFAIR INC- CLASS A	67.69	61.54	705	76,654	一般消費財・サービス	
PRA HEALTH SCIENCES INC	—	112.67	1,115	121,258	ヘルスケア	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	544.07	471.07	4,507	490,028	情報技術	
GODADDY INC - CLASS A	273.15	397.15	2,562	278,559	情報技術	
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	160.08	138.61	366	39,885	ヘルスケア	
FRONTDOOR INC	296.4	256.63	1,302	141,639	一般消費財・サービス	
ALKERMES PLC	206.12	—	—	—	ヘルスケア	
STERIS PLC	281.14	195.95	2,805	304,934	ヘルスケア	
LYFT INC-A	32.8	—	—	—	資本財・サービス	
PERKINELMER INC	439.45	380.49	3,158	343,396	ヘルスケア	
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	911.18	788.88	3,953	429,824	資本財・サービス	
ON SEMICONDUCTOR CORP	1,684.36	1,458.32	2,786	302,958	情報技術	
IQVIA HOLDINGS INC	177.94	166.82	2,391	259,965	ヘルスケア	
WABTEC CORP	314.96	298.28	2,078	225,944	資本財・サービス	
WATERS CORP	119.2	103.22	2,216	240,983	ヘルスケア	
WILLIAMS-SONOMA INC	181.58	131.88	926	100,772	一般消費財・サービス	
OMNICOM GROUP	216.04	187.05	1,422	154,600	コミュニケーション・サービス	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	141.64	80.26	2,577	280,170	資本財・サービス	
TD AMERITRADE HOLDING CORP	869.69	752.99	2,735	297,388	金融	
AON PLC	277.32	240.11	4,644	504,950	金融	
CELGENE CORP	168.8	145.36	1,479	160,865	ヘルスケア	
FLEX LTD	1,702.84	1,474.33	1,492	162,197	情報技術	
SEALED AIR CORP	684.17	592.36	2,451	266,468	素材	
CARMAX INC	—	142.52	1,321	143,669	一般消費財・サービス	
COOPER COS INC/THE	140.85	121.94	3,563	387,409	ヘルスケア	
XILINX INC	124.29	98.28	932	101,402	情報技術	
INTUIT INC	57.74	39.64	1,056	114,854	情報技術	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	1,018.17	876.77	3,346	363,812	ヘルスケア	
VISTEON CORP	114.64	99.26	831	90,435	一般消費財・サービス	
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	124.5	107.79	1,230	133,724	ヘルスケア	
ファンド合計	株数、金額	25,244.8	22,043.83	160,539	17,452,284	
	銘柄数<比率>	77銘柄	75銘柄		<94.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
LAMAR ADVERTISING CO-A	50,159	43,43	3,584	389,694
CROWN CASTLE INTL CORP	36,266	20,777	2,900	315,264
合 計	86,425	64,207	6,484	704,958
	口数、金額 銘柄数 < 比率 >	2 銘柄		< 3.8% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	17,452,284	93.9
投資信託証券	704,958	3.8
コール・ローン等、その他	427,561	2.3
投資信託財産総額	18,584,804	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.71円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(18,394,080千円)の投資信託財産総額(18,584,804千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,584,804,242円
コール・ローン等	425,530,517
株式(評価額)	17,452,284,206
投資信託証券(評価額)	704,958,897
未収配当金	2,030,622
(B) 負債	90,278,400
未払金	5,278,400
未払解約金	85,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	18,494,525,842
元本	14,689,656,422
次期繰越損益金	3,804,869,420
(D) 受益権総口数	14,689,656,422口
1万口当り基準価額(C/D)	12,590円

* 期首における元本額は18,671,915,254円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は3,982,258,832円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジあり)3,665,638,282円、ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジなし)11,024,018,140円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,590円です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2019年4月19日 至 2019年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	86,073,083円
受取配当金	80,458,190
受取利息	5,667,237
支払利息	△ 52,344
(B) 有価証券売買損益	309,592,402
売買益	1,892,022,191
売買損	△ 1,582,429,789
(C) その他費用	△ 3,101,698
(D) 当期損益金 (A + B + C)	392,563,787
(E) 前期繰越損益金	4,363,046,801
(F) 解約差損益金	△ 950,741,168
(G) 合計 (D + E + F)	3,804,869,420
次期繰越損益金 (G)	3,804,869,420

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。